

令和 6 年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人敬寿会	代表者	施設長 山口 まゆみ	法人・事業所の特徴	地域の中で、多機能を拠点とし、利用者一人一人の生活に合わせ個別支援に重点を置いたサービス提供をしています。利用者の「～したい」の気持ち「笑顔」を引き出し、機能の維持向上に努め自立した生活と生活の質が向上できるよう支援しております。
事業所名	小規模多機能型居宅事業所鈴川敬寿園	管理者	大類 裕二		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	6 人	1 人	1 人	1 人	人	6 人	人	15 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・目標達成に向け中間での確認、個別にアドバイスを行い全員が目標達成を目指す。 ・ユニット全員で目標を目指す意識を高めるよう取り組む。	中間での集約について、一部アドバイスできた所はあるが、すべてには対応できなかった。 ユニット全員が目標に向かい取り組むことができた。	職員全員で計画を取り組んでいる事は確認できた。 職員間で意識の差があるように感じるので差をなくしてほしい。	個別のアドバイスを行う事が大変だったので、リーダーとサブリーダーで役割分担して取り組む。 職員間の意識を上げるために職員のレベルに合わせて指導する。
B. 事業所のしつらえ・環境	・季節を感じる雰囲気づくりを継続し、楽しめる雰囲気づくりを行う。 ・利用者の関係性を考慮し、皆が楽しく、安全に過ごせる環境づくりを行う。	季節ごとの飾りつけやイベントを開催し、その時の写真をユニットに飾り楽しい雰囲気づくりを行った。 利用者間の相性を考え席の配置にも気を配った。	施設の中は明るく和やかな雰囲気よく管理されている。 新型コロナ対策の工夫がみられた。 利用者の方から話を聞いてみたい。	利用者からは好評なので、今の取り組みを継続し、楽しいばかりだけでなくリラックスできる環境を作っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	・利用者やご近所の方などに、介護についての困りごと相談など積極的に取り組む。 ・「介護についてのためになる話」を作成し年 2 回以上発行する。	近所に包括支援センターがあるので、相談がくる時は包括に案内している。 電話での問い合わせも数件あり必要なアドバイスができた。 町内会へ「ちょこっと介護」を年 2 回発行した。	職員のあいさつは特に良好です。 秋の交流センター祭りには作品展示と講話を行ってもらい感謝しています。	介護についての困りごと相談など積極的に取り組む。 「ちょこっと介護」も継続し地域への発信を行う。 地域行事に協力できることがあれば積極的に参加する。

D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み	・コロナ対策を行いながら、地域の行事に参加するよう取り組む。 ・個別の生活歴を理解し、個別支援に取り組む。	交流センターまつりへの参加や花見、初詣にも参加できた。 個別支援として墓参りや馴染みの店への食事、美容室への外出支援を行った。	多忙な業務の中、花火大会、秋祭り等、季節に応じた行事や誕生会など利用者から喜んでもらえるような行事を数多く実施している。	地域行事の情報をとり、参加できるように計画を組む。 個別支援を行うため本人を理解することに努める。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・運営推進会議でのご意見を参考により良い施設運営を行う。 ・ユニットの風景などお便りとして発行する。	事故報告書での意見を参考に資、事故防止に取り組んだ。 ユニットでの出来事をお便りとして発行している。	事務所からの報告文書により職員全員が問題に対して真摯に向き合っていることが確認できた。 資料により運営状況がよく分かった。	運営推進会議でのご意見を参考により良い施設運営を行う。 ユニット内での取り組みを見て理解できるように写真での報告を継続する。
F. 事業所の 防災・災害対策	・防災訓練は定期的に行い、町内会や運営推進委員の方にもお知らせする。 ・地域との連携を深まるよう、地域の防災訓練にも参加していく。	施設の防災訓練の案内を行い、委員の方からも数名参加してもらった。 地域での防災訓練は参加できなかった。	防災訓練に参加し、町内会や福祉団体の協力体制が必要と感じた。 職員の連携プレーがとてもよかった。	地域と連携できるように委員の方にも参加を呼びかける。 地域の防災訓練にも参加する。